

～ワクチン接種の目的～

令和3年度狭山市社会福祉協議会
医療アドバイザー
医療法人 安齋医院
院長 安齋 博雅 先生



皆様、コロナワクチンは済みましたか？狭山市では65歳以上の1回目接種率が90%を超えました。市のリーダーシップのもと医師会・歯科医師会・薬剤師会が総力を挙げて接種に注力していますが、周辺自治体と違うのは集団接種の充実で、予約枠がカツカツな状況ではなく、ある程度余裕がある中での7～9月となります。一方で、国の供給量が減少する現実にも直面し、推進力を保つ狭山市としては非常にジレンマを抱えながらのワクチン接種となり、その点は市民の皆様にもご理解いただきたいと思います（狭山市は頑張ってます！）さて、ある程度のペースで接種は進みますが、是非とも皆様にお伝えしたい事があります。それは【ワクチン接種の“目的”とは？】です。実は最近「お盆休みに旅行したいのでワクチンで安心」「オリンピックを観に行きたいから早く接種したい」など、『個人欲求』を“目的”と考えている方々の言葉を耳にします。それぞれの想いを否定はしないのですが、「ワクチンで安心」「ワクチンやれば自由」というのは大きな間違いです。ワクチン接種の“目的”は『社会の安定』で、『個人欲求』は“目的”が達成された後の“結果”でしかありません。“目的の達成”と“結果”の順序を間違えず、引き続き感染対策を行いながら『社会の安定』という“目的”を目指しましょう。そのあとに必ず『個人欲求』が伴います。とはいえ、ワクチン接種が進むと発病が抑えられるので、爆発的な拡大を減らす事ができるかもしれません。



↑八幡神社での集団接種の様子

実際、最も接種が進んでいる医療従事者での発生や、医療機関のクラスターは1/10程度まで減少しています。ただコロナが消えるわけではありません。以前からお伝えしているように、「ワクチン接種」「感染対策」「検査を受ける」この三本の矢を一本も折ることなく頑張っていきましょう。

来年の今頃は、狭山市入間川七夕まつりの準備で忙しい日々を送りたいものです。

お問合せは 狭山市社会福祉協議会 生活支援コーディネーターまで



社会福祉法人
狭山市社会福祉協議会

Facebookでは狭山市で行われている活動を紹介しています！

Facebook

<http://www.facebook.com/sayama.shakyo/>



〒350-1305 狭山市入間川2-4-13
狭山市社会福祉会館内
TEL.04(2954)0294 FAX.04(2954)4343
E-mail daihyou@sayama-shakyou.or.jp
HP <http://www.sayama-shakyou.or.jp>



さやま生活支援コーディネーターニュース

12号

発行 狭山市社会福祉協議会
発行日 2021年7月20日

コロナ禍の地域福祉活動の様子を
みなさんにお知らせします



若者と地域がつながる「高校生夢プロジェクト」が始まりました！

この取り組みは「次世代につなぐ」というテーマで地域のオトナたちが高校生の夢を本気で応援しよう！というものです。

私たちは日頃から、地域活動において若者と接する時に、その限りない可能性と、きらきらした希望に大きなエネルギーをもらいます。若い力は地域の宝物です。そこでこのプロジェクトが立ち上がりました。

先日、高校生たちが「やってみたい！」を語り合いました。「自分の得意なことを活かして地域貢献したい」「自分と同じくらいの若い人たちに地元の良さを知ってほしい」「他校の生徒とつながって一緒に取り組みたい」「もっと狭山や狭山の人とつながりたい」など、嬉しくなる頼もしい意見がたくさん聞かれました。一方で、コロナ禍で思うように活動できない高校生のもどかしさも理解し、このプロジェクトの果たす役割も認識しました。

今年度は、「木工でベンチ作成」「狭山の映画を作ろう」「アウトドアで狭山を楽しむ」「e-sportsでつながろう」に取り組む予定です。ともに、高校生の夢を応援してくださる方は、ぜひ狭山市社会福祉協議会へお問い合わせください。



↑コロナ禍ではZoomも活用

【その2】プロジェクト種類

「椅子づくりPJ」	「映画づくりPJ」	「アウトドアPJ」	「ゲームPJ」
目的：狭山市内の老朽化したベンチを新しく作り変える。	目的：狭山市を舞台にショートフィルムをつくる。	目的：狭山市内の自然（嵐山や川等）を高校生同士で楽しむ。	目的：狭山市内の高校生同士で様々なゲームを楽しむ。



↑高校生の「やってみたい」

「みんなの農園」活動も進んでいます！



←親子でじゃがいも収集

「みんなの農園プロジェクト」のご報告です。

「みんなの農園」は高齢者の介護予防や生きがいづくり、仲間づくりという側面と、「全ての人に居場所と役割を」を目標に、高齢者以外の様々な人も共に活動している住民主体の活動です。

活動を始めて9か月がたち、農業ボランティアさんの指導の下、初心者だったメンバーもたくさんの美味しい野菜を育てることができるようになりました。さらに地域貢献活動として、この畑を地域の親子グループや障がいのある子ども達の、種まきや草取り、収穫の体験の場として活用してもらっています。これまでに体験した皆さんからも「地域にこんな体験ができる場所があって嬉しい」「自分で収穫した野菜は美味しかった」などの声がありました。

また、先日は、みんなの農園メンバーで「農園会議」を開催し、社会的孤立の問題や地域で支え合うことの意味など理解し、農園活動の役割を確認しました。そして地域の一員として自分にもできることを見つけることが出来ました。



↑青空の下での活動は気持ちよくて安心

新しい生活にあわせて活動も進んでいます！

長く自粛生活が続いていましたが、5月から新型コロナウイルスのワクチン接種が開始され、日常もだんだんと新しい生活へ変化しています。また、地域で行われている活動も地域の皆さんの生活にあわせて、変化しながら進んでいます。今回は、各地区での2層協議体の活動を皆さんにお伝えします。



↑コロナ対策
検温も徹底します

入間川 茶べり場



↑輪投げは大盛り上がり

多くのご意見を受け、感染予防対策を行いながら、屋外で茶べり場の開催をしています。自粛が続く中、健康のための体操や、脳トレなどのレクリエーションを行っています。参加者からは「久しぶりにみんなと会えて嬉しい」と感想がありました。また、買い物に行けずに困っているという地域の方のお声から、多機能ホームつばさのご協力のもと、買い物支援がスタートしました。今後も地域の方のお声をききながら、茶べり場でできる事を考え活動を進めていきます。

コロナ禍で人とのふれあいが希薄になりやすい中、安全に一緒に楽しめることはないかとみんなで考え、ノルディック・ウォークを実施しました。地域の指導員のもと20人程で開始。初回は1時間半程でしたが、「腰が痛く30分も歩けなかったのに自分でもびっくり」「姿勢がよくなり肩が楽になった」など効果抜群の様子でした。他にも参加してみたいとの声が多く、拡がりが見え始めています。

また、本を音読する「輪読会」も始まり、同じ作品をみんなで読み、感動を共有する心のつながりも出来てきました。今後も「いま」できるつながりづくりを考え活動していきます。

まちの縁側推進 プロジェクト水富



↑輪読会



↑縁側ウォーク

↓百歳体操1階と2階 部屋は違えど心は一つ



奥富地区支え合い ネットワーク会議



いきいき百歳体操は、会場を1階と2階に分け、音声を中継して開催しています。「皆と一緒に続けられる」という参加者の声を大切に、密を避けても同じ気持ちで、一体感を持って体操できる方法を皆で考えました。顔を見せあい、ちょっとした雑談も大きな楽しみに、雨にもコロナにも負けず多くの方が参加しています。

体操は介護予防だけでなく、地域の情報や相談が集まる場にもなっています。

また、ワクチン接種の予約でお困りの方計13名に、予約代行もありました。

柏原 きのえね坂の家



↑みんなでビニール
シートの設置



コロナ禍でも感染予防の工夫をして活動しています。人数制限をし、シートやアクリル板を設置、検温や消毒、徹底したマスク着用を行うので、安心して人が集まり、短時間でもつかの間の交流ができます。高齢者の交流は、ワクチン接種や暮らしの変化の情報交換、ちょっとした困り事の相談の他、なにより顔を合わせて得られる安心感に笑顔があふれます。月2回のウォーキングも始まりました。

子ども向けのイベントも小規模だからできる予防の工夫をして開催しています。次々に行事が中止になってしまう子どもたちにとって、貴重な楽しめる機会になります。夏休みには「縁日」「宿題会」も開催予定です。

新しい生活様式のなかで今日も活動中です！

←地域の子どもに
カブトムシのプレゼント

いりそ 支えあいたっち

屋外で、地域の方の健康につながるものと、4月より、ノルディック・ウォークが始まりました。現在毎月第3土曜日に約90分間、水野公民館をスタート地点にして活動をしています。

歩行での健康増進、介護予防はもちろん、その中でちょっとしたおしゃべりや交流を通して、地域の皆さんの心身の健康を目指していきます。この活動が、入曽地区の地域交流の場の1つとなるように、拡げていきます。



↑ノルディック・ウォークの様子

おたがいさま♡ふじみ

ご近所の高齢者のワクチン接種予約のお手伝いを行いました。近所の気になる人に予約方法で不明点はないか声を掛けたり、市のワクチンのチラシにメッセージを付け、近隣の気になる方に配付した方もいました。

「ワクチンの予約が取れず不安になる高齢者に、『必ず受けられるから大丈夫』と話すことで安心してもらえた」「自宅を訪問できて、地域の情報を吸い上げる良い機会となった」とのことです。

予約日に病院に間違いなく行けたかなどの後日フォローもしました。体調も気にかけ、まさに「おたがいさま♡」の助け合いができました。



↑狭山台サロン再開のための勉強会

みま～も狭山

集合住宅が多く、高齢化率が40%を超えている狭山台は、早急に孤立対策に取り組む必要があり、2層でも見守り活動を強化し孤立を減らしていくことが目標です。

コロナ禍でも住民のゴミ出し支援、サロンへの活動再開支援、勉強会、サロンと2層のつながりづくり、ふれあい運行のサポートなどの活動を続けてきました。

定例会でアイデアや事例を持ち寄り、日々検討しています。